



花水木のキャラクター
「ミズキちゃん」



クイズ

バスの無料優待券
は何歳から対象と
なるでしょうか。

- ① 65 歳
- ② 70 歳
- ③ 75 歳

応募資格
(市内在住の方)

※答えを書いてはがきに
住所・氏名・年齢を記入
抽選で5名様に図書
カード1000円分プレゼント!

あて先
〒773-8501
小松島市横須町1番1号
小松島議会議務局 宛
(締切日・11月30日消印有効)

前回の答え

②730人



豪華客船「にっぽん丸」が 乗客394人を乗せ、 10月11日、小松島新港岸壁に寄港した

----- 目 次 -----

常任委員会報告(9月) -----	2 ~ 7	賛否表・視察来市 -----	15
一般質問(9月定例会義) -----	8 ~ 14	12月定例会議 日程 -----	16

常任委員会報告

予算決算常任委員会

安平 剛之 委員長

平成27年度一般会計補正予算 (第二号) に附帯決議を付す

本委員会には議案第61号から議案第70号までの決算の認定と、議案第71号から議案第73号までの補正予算会計13件の案件が付託され、9月14日から9月25日の6日間、慎重審議を行った。

議案審議は、部局別各担当課ごとに説明を受け、質疑を行い、最終日には自由討議・討論・採決を行った。採決の結果はいずれも原案のとおり認定・可決すべきものと決した。

議案第71号の採決の後、動議が提出され、附帯決議を付することを、全会一致で決議した。

平成26年度に実施された事業のうちから、議員が抽出した20事業について、全議員が事務事業評価シートを作成し、委員会提出の意見書として本会議で可決し、市長に提出した。



議会による事務事業に関する意見書を市長に提出

附帯決議

「当該議案には当初、議決承認前に入札を執行した予算が含まれており、本議会において訂正されているが、議決承認前の事業執行を行ったことは誠に不適切であり、市長及び執行機関は、事業執行のあり方をより厳格にし、今後行政と議会との信頼関係を損なうことのないよう、厳に求める」。

議会評価意見書

平成26年度に行政が行った事務事業より議会が抽出した20事業の評価を行いました。

事業名	インターネット環境維持事業	
議会評価	1	拡充する
<p>今後ますます変化する情報社会に対応した教育活動を推進するため、各校にタブレット端末を導入すべきである。 生徒の学習意欲を高めることを目的に、今後も引き続き効率的に整備していく必要がある。</p>		
事業名	四国へんろ道世界遺産推進事業	
議会評価	2	現状のまま継続する
<p>四国八十八箇所霊場は、歴史的・文化的な価値があり、本事業は世界遺産登録に向けた事業である。観光資源として市の活性化にもつながる事業であり、市民に広く啓発活動し、機運を高めるべきである。へんろ道の整備等、対応策を検討していかなければならない。</p>		
事業名	新中学校建設事業	
議会評価	2	現状のまま継続する
<p>新中学校建設は教育環境を充実する上で必要性かつ緊急性が高い事業である。安心・安全な施設であるとともに、地域住民の避難場所としても重要である。近隣環境などにも十分配慮した施工を行うべきである。</p>		

事業名	本庁舎耐震化事業	
議会評価	1	拡充する
<p>庁舎N棟耐震化工事が完了見込みとなり、耐震診断の結果、耐震化の必要があると診断されたS棟についても、防災拠点施設としての役割を果たせるよう耐震化を進める必要がある。ただし、耐震化工事を行っても、建物自体の耐用年数はあと十数年しかない。今後は建てかえが必要である。よって、建設地と予算について早く市民の意見を聞き、基金を積み立てるべきである。</p>		
事業名	商工業振興事業（地域経済振興支援費補助事業・新規雇用創出奨励事業）	
議会評価	3	改善・効率化し継続
<p>商工業の活性化は、地域経済や雇用などにも好影響を与える要因となるため、国や県の支援施策も活用し、最大限の取り組みを行うべきである。</p>		
事業名	市道整備事業	
議会評価	1	拡充する
<p>安全性や利便性の向上を図る上でも非常に重要な事業であり、市民からの要望も多い。今後は、道路パトロールの充実及び改修・修繕工事を計画的に行っていく必要がある。</p>		
事業名	市道側溝清掃事業	
議会評価	1	拡充する
<p>近年、豪雨による道路冠水、家屋の浸水被害が多発しており、市民の要望も多い。市道側溝維持管理・修繕は、今後も必要性・緊急性が非常に高く、予算拡充を初め、執行体制に関しても強化策を講じなければならぬ。また、市道側溝だけでなく公共性のある側溝清掃も行うべきである。</p> <p>下水道の未整備地区の多い本市では、地域の排水は水路側溝しかない。事業の目的である道路の冠水や、周辺の浸水被害の解消を図るためには、道路側溝がつながる水路も清掃すべきである。</p>		
事業名	社会資本整備総合交付金事業（総合整備計画・防災安全整備計画）（繰越）	
議会評価	1	拡充する
<p>今後、急速に老朽化していくインフラに対して、市民生活を確保する面からも、整備の判断基準・費用対効果等を考え、国・県の交付金・補助金を活用し拡充する必要がある。</p>		
事業名	金磯地区避難路整備事業	
議会評価	2	現状のまま継続する
<p>金磯地区は、避難所としての適切な場所がなく、甚大な津波被害も予測される。金磯南雨水ポンプ場への避難路として、早急に工事を完成し、供用を開始すべきである。</p>		
事業名	老朽危険空き家除去支援事業	
議会評価	1	拡充する
<p>本市においては、老朽空き家が急増し、防災上からも解体・撤去等の必要がある。また、市民ニーズも高いので、適用要件を緩和し、広く利用できるようにすべきである。</p> <p>この事業の対象外の老朽危険空き家にも防犯・住環境の改善・良好な景観形成等のため、新たな助成制度をつくるべきである。</p>		

事業名	ミリカホール管理運営事業	
議会評価	3	改善・効率化し継続
<p>本市の文化・芸術の中心となる施設であり、今後も振興の拠点として市民のニーズに応えられる運営が必要である。ソフト面・ハード面とも適正な管理が求められるため、順次修繕計画を立て、貸し館業務に支障を来さないよう対策を図るべきである。</p> <p>また、利用料が高いとの声を聞くことから、値下げを検討すべきである。</p>		

ミリカホール管理運営事業



ミリカホール

津波等災害に強い安全なまちづくり推進事業（繰越）



泰地総合センター津波避難階段

事業名	津波等災害に強い安全なまちづくり推進事業（繰越）	
議会評価	7	廃止
<p>本事業は、津波避難施設の整備であり、平成26年度において完了したが、津波避難困難地域に居住する市民が、津波発生時に安全かつ迅速に避難できるよう、今後とも避難場所や避難路等の整備を計画的に行っていく必要がある。</p>		

事業名	津波等災害に強い安全なまちづくり推進事業	
議会評価	7	廃止
<p>本事業は、災害発生時における被災者への支援活動を行うための具体的なマニュアルを策定するものであり、そのマニュアルは既に策定されたのであるから、あとは見直し作業のみである。</p> <p>災害時初動マニュアル・避難所運営マニュアル・BCP(業務継続計画)に沿った訓練、研修を市職員に行うべきである。</p>		

事業名	災害対策事業	
議会評価	1	拡充する
<p>備蓄等の体制については、住民への防災講習・訓練の中での周知、研修等も含め有意義な活用方法に取り組まなければならない。自助・共助・公助の考え方を市民に理解してもらい、避難所の設置・整備・食糧等の備蓄など、行政がすべきことを早急に行う必要がある。災害対策は終わりのない事業である。</p> <p>今後も、市民の防災意識及び防災知識の向上のため創意工夫をするとともに、発災における体制を常時とっておく必要がある。</p>		

事業名	生活保護事業	
議会評価	2	現状のまま継続する
<p>生活困窮者にとっては必要不可欠な事業であり、生活保護関係法令に基づき適正運営に取り組まなければならない。</p> <p>保護受給者の自立を促す制度でもあり、受給者の自立支援に向けた取り組みを積極的に行うべきである。</p>		

事業名	ごみ袋関係経費	
議会評価	3	改善・効率化し継続
<p>ごみ袋は、ごみの減量化・リサイクル意識の向上のため、今後も事業は継続すべきであるが、ごみ袋の販売価格の減額を進めていく必要がある。</p> <p>一方、市民はごみ袋の指定、有料化は決して望んでいない。よって、ごみ袋の自由化等、新しい制度を取り入れるべきであるという意見もある。</p>		
事業名	ごみ収集・焼却等事業	
議会評価	3	改善・効率化し継続
<p>ごみ収集・焼却等事業は、市民生活において不可欠な事業である。収集作業の民営化、収集日・回数等の改善、粗大ごみの完全無料化等、市民のニーズに合ったごみ収集・焼却等事業にすべきである。</p>		
事業名	ごみ焼却施設整備事業	
議会評価	2	現状のまま継続する
<p>適正な施設の維持管理に努め、効率的かつ安定的なごみ焼却事業の運営が望まれるため、施設の焼却能力と効率性を踏まえ、適正な運転ができるよう努めるとともに、ランニングコストについては検証すべきである。</p>		
事業名	住宅新築資金等貸付事業	
議会評価	3	改善・効率化し継続
<p>未償還者に対して個別に対応していく必要があり、政策法務室と原課による連携で法的措置をとることや、市の債権を一元管理する専門部署を立ち上げ、償還率向上に取り組むとともに、国や県に制度改正を強く求めるべきである。</p>		
事業名	葬斎場建設事業	
議会評価	5	終期を設定し終了
<p>設計等業務委託は完了したが、今後、建設・操業・維持管理を行うことになる。</p> <p>現在の施設は老朽化が著しい。平成29年4月供用開始予定であるが、一日も早い完成を目指すべきである。また、周囲の景観と防災を含めた施設でなければならない。</p>		

議員研修会～開催～

予算書・決算書の 読み方について

高知大学人文学部
霜田 博史 准教授 講演

教授より、決算カードについて、
経常収支比率について
地方財政健全化法について
全議員が詳しく説明を受ける



平成27年8月19日 市議会第一委員会室において

総務常任委員会

北野 恒男 委員長

マイナンバー制度を 条例に規定

本委員会には議案4件が付託され、審査の結果、いずれも原案のとおり可決した。

◎議案第74号 小松島市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例について

被用者年金制度の一元化等を図るための厚生年金保険法等の一部を改正する法律により、地方公務員等共済組合法から削除されることに伴い、厚生年金保険法を引用するように改正する。

◎議案第75号 小松島市職員の再任用に関する条例の一部を改正する条例について

被用者年金制度の一元化等を図るための、厚

生年金保険法等の一部を改正する法律により、本市消防吏員が該当する定義が地方公務員等共済組合法から削除されることに伴い、厚生年金保険法を引用するように改正する。

◎議案第76号 小松島市個人情報保護条例の一部を改正する条例について

平成27年10月からマイナンバー制度が開始されることに伴い「特定個人情報」の取り扱いについて、小松島市個人情報保護条例に規定する。

◎議案第77号 小松島市情報公開・個人情報保護審査会条例の一部を改正する条例について

マイナンバー制度が開

文教厚生常任委員会

廣田 和三 委員長

マイナンバーカード 再交付手数料を定める

本委員会には、議案2件が付託され、審査の結果、いずれも原案のとおり可決した。

◎議案第78号 小松島市事務手数料条例の一部を改正する条例について

平成27年10月5日より住民票を有する全ての市民の方にマイナンバーの通知カードが交付され、平成28年1月から希望者に個人番号カードが交付される。いずれのカードも初回は無料で交付されるが紛失した場合等の再交付手数料をそれぞれ定めるもの。

◎議案第79号 訴えの提起について

本事案は、坂野町高塚にあるリサイクルセン

ターに対する建物取去と土地明け渡しの訴訟について、本市が勝訴した件の継続事案である。未払い賃料と遅延損害金について、連帯保証人の相続人に連帯保証債務の存在と支払いを求める訴えを提起するもの。

◆所管事項での質問◆

問 市営グラウンドのテニスコートがかなり傷んでいる。改修はいつか。

答 委託管理者に日々の草刈りを含めた管理体制を指導したい。

問 ごみ袋について、価格もそうだが、袋を限定しなくてもいいのではないか。

産業建設常任委員会

出口憲二郎 委員長

新たに市道田浦 44号線を認定する

本委員会には議案1件が付託され、審査の結果、原案のとおり可決した。

◎議案第80号 市道の路線の認定について

高速道路の周辺整備事業として行うものであり、新たに、新たに整備する市道の認定が滞りなく行えるよう

るよう



高速道路の橋桁（前原町）

にするものである。

◆所管事項での質問◆

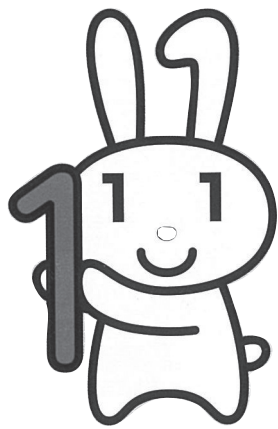
問 高速道路の周辺整備として市道を新設するが、利用できるのはいつごろになるのか。

答 詳細設計、用地買収等を行い、3年から5年を想定している。

問 水道本管の敷設について、市民の要望に応えていない、なぜか。

答 配水本管が100%市内に敷設されていない状況であり、施工計画の早期の対応は難しい。現在は本管の延長よりも、既設の配水管を耐震管にかえることに取り組んでいる。

問 競輪事業について、



マイナンバー
キャラクター
マイナちゃん

始されることに伴い、小松島市情報公開・個人情報保護審査会でマイナンバーをその内容に含む「特定個人情報」を取り扱うことになるため、所要の改正を行うもの。

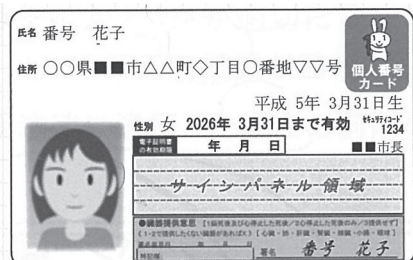
◆所管事項での質問◆

問 債権回収についての実務マニュアルの運用時期は。

答 今年度中に着手し、債務回収につなげていく。

問 河川の決壊等による避難場所での浸水被災について検討しているか。

答 浸水被害の及ばない場所を設定しており、市民には避難準備情報のエリアメールで知らせている。



個人番号カード(イメージ図)

問 新中学校の工事の進捗は。

答 今のところ考えていない。



痛みが激しいテニスコート

問 新中学校の工事の進捗は。

答 10月に上棟ができる。

問 学校のトイレの改修具合は。

答 今後適切に対応する。

答 分別の徹底をして、アルミなど資源ごみをリサイクルすることに市民の皆様のご協力をさらにお願います。

問 最終処分場の緩衝地の活用方法は。

答 内装工事に入ると夜間の作業となる。付近の住民に配慮してほしい。開校におくれないよう。工事関係者に連絡を

問 今後の計画はどうなっているのか。

答 收支改善計画が平成27年度で終了する。28年度よりは、施設環境等の整備も含めた形の中で收支がプラスとなるような、新しいシステムを考えている。

問 次の12月議会にはある程度の報告をしてほしいが、どうか。

答 その方向で進めていきたい。

問 市営住宅家賃の未収金について、法的処置を行うのは確かか。

答 今使える法的措置としては、明け渡し訴訟、支払い督促が有力であると考えている。

問 ステーションパーク・たぬき広場の清掃が十分行われていないとの市民からの苦情がある。どうなっているのか。

答 臨時職員2名とシルバー人材センター2名が配置されている。作業内容等の報告はされているので、そのように認識している。

問 月ノ輪金磯線の金磯踏切線路部分の幅員が、非常に狭い。災害時の避難道路としても整備する必要はあるのか。

答 早期の改良を目指して一昨年度から取り組んでいる。JRとの協定をまくことに取り組んでいる。遅くとも5年間で完成させたい。

問 たぬき広場の外周のウォーキングロードが非常に傷んでいる。早急に改善すべきであり、要望しておく。

問 金磯海岸の公園、弁天山神社周辺の公園の整備管理を、現在作成中の緑の基本計画に取り入れる考えはないか。

答 この地域については、都市計画において、風致地区として位置づけている。よって公園化ではなく景観の保全を図るということで現在進めている。

問 今後の計画はどうなっているのか。

答 收支改善計画が平成27年度で終了する。28年度よりは、施設環境等の整備も含めた形の中で收支がプラスとなるような、新しいシステムを考えている。

問 次の12月議会にはある程度の報告をしてほしいが、どうか。

答 その方向で進めていきたい。

問 市営住宅家賃の未収金について、法的処置を行うのは確かか。

答 今使える法的措置としては、明け渡し訴訟、支払い督促が有力であると考えている。

問 ステーションパーク・たぬき広場の清掃が十分行われていないとの市民からの苦情がある。どうなっているのか。

答 臨時職員2名とシルバー人材センター2名が配置されている。作業内容等の報告はされているので、そのように認識している。

問 月ノ輪金磯線の金磯踏切線路部分の幅員が、非常に狭い。災害時の避難道路としても整備する必要はあるのか。

答 早期の改良を目指して一昨年度から取り組んでいる。JRとの協定をまくことに取り組んでいる。遅くとも5年間で完成させたい。

問 たぬき広場の外周のウォーキングロードが非常に傷んでいる。早急に改善すべきであり、要望しておく。

問 金磯海岸の公園、弁天山神社周辺の公園の整備管理を、現在作成中の緑の基本計画に取り入れる考えはないか。

答 この地域については、都市計画において、風致地区として位置づけている。よって公園化ではなく景観の保全を図るということで現在進めている。

問 月ノ輪金磯線の金磯踏切線路部分の幅員が、非常に狭い。災害時の避難道路としても整備する必要はあるのか。

答 早期の改良を目指して一昨年度から取り組んでいる。JRとの協定をまくことに取り組んでいる。遅くとも5年間で完成させたい。

問 たぬき広場の外周のウォーキングロードが非常に傷んでいる。早急に改善すべきであり、要望しておく。

問 金磯海岸の公園、弁天山神社周辺の公園の整備管理を、現在作成中の緑の基本計画に取り入れる考えはないか。

答 この地域については、都市計画において、風致地区として位置づけている。よって公園化ではなく景観の保全を図るということで現在進めている。

問 月ノ輪金磯線の金磯踏切線路部分の幅員が、非常に狭い。災害時の避難道路としても整備する必要はあるのか。

答 早期の改良を目指して一昨年度から取り組んでいる。JRとの協定をまくことに取り組んでいる。遅くとも5年間で完成させたい。

問 たぬき広場の外周のウォーキングロードが非常に傷んでいる。早急に改善すべきであり、要望しておく。

問 金磯海岸の公園、弁天山神社周辺の公園の整備管理を、現在作成中の緑の基本計画に取り入れる考えはないか。

答 この地域については、都市計画において、風致地区として位置づけている。よって公園化ではなく景観の保全を図るということで現在進めている。

市政 Q&A

一般質問・発言要旨

質問者名	件名
池淵 彰	集中改革プランについて
	環境対策事業について
安平 剛之	空き家等対策について
	人口ビジョンについて
	総合戦略について
	芝生川改修計画について
杉本 勝	市営住宅について
	大型店舗について
	認定こども園について
米崎 賢治	登下校の安全対策について
	豪華客船入港について
	マイナンバー制度について
廣田 和三	バス無料優待券について
	給食事業について
	就学前教育・保育のあり方について
	職員人事について
	障害者差別解消法について
四宮 祐司	南海トラフ地震に対する防災対策について
	市民の健康増進に対する取り組みについて
吉見 勝之	領土問題について
	ごみ収集方法について
	水路の浚渫(しゅんせつ)について
	市営住宅について
前川 英貴	高齢者について
	マイナンバー制度について
松下 大生	野外活動センターについて
	市営住宅及び住宅新築資金等について
	開発道路について
	ふるさと納税について

集中改革プランで、優先的に取り組まなければならぬ事項は

創明会 池淵 彰 議員

答

人口減少社会においても持続可能な行財政システムを確立することを重点目標と位置づける



2060年の目標人口は何人が

みらい政策クラブ 安平 剛之 議員

答

有職者会議や市民アンケートの結果を勘案した上で決める



池淵 特に歳入確保部分は、各徴収率を上げたり、住宅新築貸付事業等の部分について、少してこ入れを図るだけだ。一歩踏み込んだ施策をとるべきである。

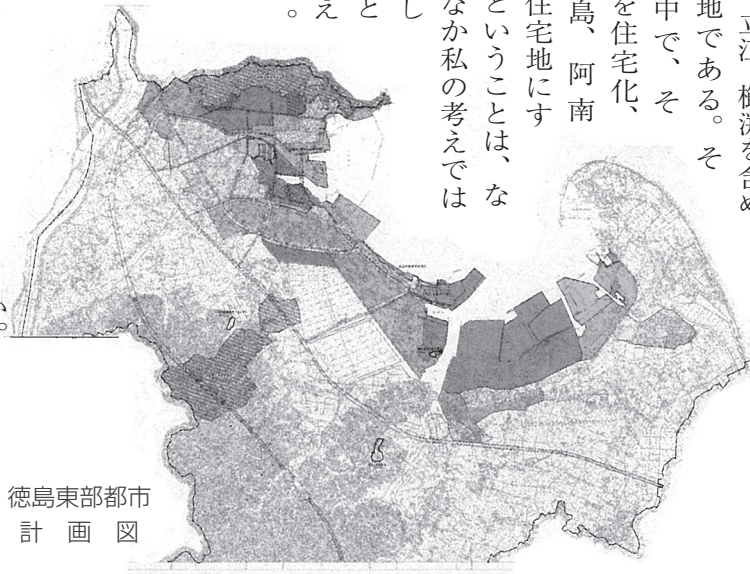
市長 新しい歳入の確保策、また恒常的な歳入の確保は、各自自治体とも懸案事項でもあり、現在、地方創生に向けた計画策定をしており、企業誘致とか地域雇用の創出に向けた施策の取り組みにより、今後長期的な観点から研究・検討してまいりたい。

よって雇用も創出できるので、第一次産業を初め、漁業、農業の振興を図っていくとともに、また、それで住宅市街地が開発できれば、そういうふうな方向も検討していきたい。

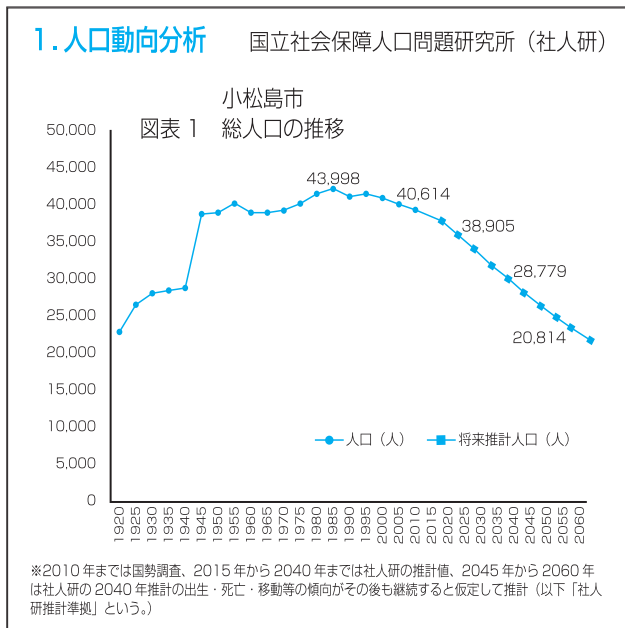
池淵 お言葉を返すようですが、そのお答えは、過去一般質問の中で、ありきたりの答弁で、やはり、もうひとつ踏み込んだ考えでなければならぬ。私は、「住みやすさ」の利点を生かす環境づくりを率先してすべきである。ゆえに「線引きの廃止」をもって人口増へ施策を打つべきだ。徳島市、阿南市に働きに行かれる方も、地理的中心にある

本市に住んでいただけの、「ベッドタウン強化」を図るべきだ。
市長 本市は、知つてのとおり低地で、住宅地は海岸縁に集約されている。また内陸部に田野、立江、榑測を含め、低地である。その中で、それを住宅化、徳島、阿南の住宅地にするということとは、なかなか私の考えでは難しいと考える。

それよりか、まず第一次産業、漁業を初め農業の振興を先に進めて、自然のよしあしを、一部、放置竹林もたくさんあるので、それをやっぱり再生することに



安平 本市の人口動向分析によると、2040年に2万8779人、2060年に2万814人と推定されている。国は2060年に1億人、県は60万人から65万人を確保すると目標を立てているが、本市の目標人口は何人なのか。
市長 目標人口は有職者会議の議論や、市民アンケートの結果を初め、具体の施策などを総合的に勘案して決める。
安平 まず最初に市長が大きな声で御旗を立てることにより、総合戦略をつくり上げていくことができるかと考えるが。
市長 本市の将来における目標人口は、有職者会議での議論や市長アンケートの結果に基づく具体的な施策・事業を位置づけ、最終的に設定していくことを想定している。現時点では具体的な数値はない。
安平 目指す方向性を市長の口からしゃべること、職員がついてくる。



安平 これからの時代は人口を奪い合う競争の時代だと思ふ。従来の前例踏襲主義、護送船団方式、上位団体からの指示待ち主義をやめ、独自の施策を考えなければ競争に勝てないと考える。基本的な本市のまちづくりの方向性は拡大都市を目指すのか、それとも縮小都市を目指すのか。
市長 時代に合った地域をつくり、市民生活の安心な暮らしを守るといふ観点に立って、社会基盤整備の促進などを計画的に進めていく必要があると考える。
安平 市長がこういうまちづくりを目指すと言っていたらいい。
市長 本市はコンパクトなまちなので、今の継続した人口ビジョンを引き継いでいきたい。

市営住宅（空き住宅）の状況は

新生クラブ 杉本 勝 議員

答 空き住宅は、内装のリフォームやハウスクリーニングを経て、公募に充てている

杉本 空き住宅の状況について説明を。

住宅課長 空き住宅は、内装のリフォームやハウスクリーニングを経て公募等に充てている。

新規公募等のための空き住宅リフォームは年間数戸から10戸程度の現状である。

杉本 過去5年間に何件申し込みがあったのか。

住宅課長 平成22年から平成26年度までの5年間に31戸の公募を実施し、151件の申し込みがある。

杉本 今後、建設計画があるのか。

住宅課長 建設計画は、

用地の確保が完了している旗山団地の建設計画から進める予定である。

大型店舗の出店の状況は

杉本 大型店舗の受け入れ状況は。

産業振興課長 現在の店舗面積が10000平方メートルを超える大型小売店舗が出店する際は、大規模小売店舗立地法に基づき届け出が必要となり、県や市町村で届け出内容が縦覧される。現在、本市において縦覧されている店舗は1件となっている。

杉本 この店舗の状態に



ついて市として受け入れるのか。

副市長 市の対応は、関係法令である大規模小売店舗立地法、都市計画法により開発許可、さらに小松島市都市計画マスタープランの土地利用の方針に合致しているか、また、農地転用が必要な物件に関して、農地法等の関係法令を踏まえた上で適切に対応する。

全て認定こども園にするのも念頭に

杉本 認定こども園の進捗状況は。

児童福祉課長 児童人口

新中学校の通学路となる市道立江5号線の整備は

新風はなみずき 米崎 賢治 議員

答 国の交付金等を活用し、整備する

米崎 新中学校の通学路の整備状況は。

学校課長 赤石橋南詰県道阿南ー小松島線から新中学校へ向かう市道との交差点では、注意喚起のため、カラー舗装が完了しており、大林北交差点では、左折車と生徒が接触しないように黄色い「横断者注意」の反射看板が設置された。

米崎 新中学校前の市道について、安全確保が図れる整備を進める考えは。

都市整備課長 国の交付金等を活用し、関係機関を初め利害関係者等と協議を進め、市民・生徒が安全・安心して通行できる道路として整備していく。



市道立江5号線

豪華客船入港への対応は

米崎 客船入港における本市の対応は。

産業振興課長 入港に合わせて岸壁にて歓迎式典等を行っている。

米崎 なぜ、ダイヤモンド・プリンセスの見学に、道路の一部制限をしたのか。

産業振興課長 寄港地の赤石岸壁は、立入制限区域であり、岸壁周辺におけるバス等の安全なルートや乗船客等の安全確保のため、港湾道路の一部を通行制限した。

米崎 客船の誘致に向けて、市の考え方は。

産業建設部長・水道部長 国内外から多くの観光客が本市を訪れ、観光振興など地域の活性化や地方創生につながるものと期待できることから、これからの推進していく。

マイナンバー制度で本市への影響は

米崎 マイナンバー制度について、情報漏えいの



が減少すれば、幼稚園、保育所としての単位運営でなく、全て認定こども園にすることも念頭に置いている。

私立保育所のこまつしま健祥会保育園、花しんぱり保育所が平成28年度から認定こども園移行に向け、準備を行っている。



こまつしま健祥会保育園

公立の坂野においては、認可申請書、届出書を、

年明けに県の審査部会による審議を得て、年度末までに認定届け出の受理が完了する予定である。
杉本 坂野の実績を見れば、他の幼稚園、保育所の現状は。
保健福祉部副部長 小規模化を避けるため、統廃合を前提に進めたい。

心配はないのか。
総務課長 本市の電算システムは、基幹系システムと情報系システムの分離を行うとともに、ウィルス対策ソフトの導入など複数の機能を用いて情報セキュリティ脅威に

取り組む必要があるのか。
総務課長 基幹系システムの対応はもちろん、改めて個人情報取り扱いのルールや情報漏えい対策の強化、関連事務の担当社員を限定することを個々の事業者が厳格に行うことが求められている。

民全員に届くよう、本市においてどのように対応しているのか。
市民環境部副部長 「やむを得ない理由により住民票の住所地で通知カードを受け取れない方の居住情報登録について」として、居所情報登録申請の措置を講じている。

学校給食の民間委託と

給食材料の地産地消状況は

新風はなみずき 廣田 和三 議員

答 28年度から全小学校を民間委託し、今後も安心材料の提供に努める

廣田 給食の民間委託業務の効果は。

教育政策課長 平成18年度から3校で民間委託業務を開始、25年度からは5校で委託業務に切りかえた。費用で2300万円

の削減効果があった。来年度から全小学校の

給食委託業務を導入してさらなる費用削減を図りたい。

廣田 給食材料の地産地消の割合は。

教育政策課長 6月の最新値で52%、月平均50%前後で推移している。



無料券で
阿南方面へ

廣田 4月からのバス利用状況は。

市民生活課長 4月から7月末現在の利用枚数は、3万4846枚、月平均8700枚、1日平均286枚利用されている。

米崎 企業はどのように

総務課長 今後も順次改善に取り組み。

廣田 無料券で阿南方面への利用ができるよう要望する。

保育所・幼稚園は現在のまま残せ

廣田 少ない人数になっても現在のまま保育所・幼稚園は残せないのか。

教育政策課長 在園児が2年続けて10人以下だと休園に。在園児の卒園を待って休園にする。再編計画の中で再配置を検討する。

非正規職員の給与水準の見直しを

廣田 正規職員・臨時職員・非常勤職員・再任用職員の人数は。

総務部副部長 5月現在正規職員411名(60%)・臨時職員175名(26%)・非常勤職員91名(13%)・再任用職員6名(1%)の総計683名。

廣田 どの職種も正規職員と遜色ない仕事をしている。来年度に向けて給与水準の見直しを市長にお願いする。

障害者差別解消法への取り組みは

廣田 障害者差別解消法が来年度4月から施行されるが、各所管の取り組みは。
教育次長 今後も、施設の修繕や更新の際に順次整備を図る。



新たに整備された身体障害者用駐車場(本庁舎前)

南海トラフ地震に対する 防災対策について

公明党 四宮 祐司 議員

答
県、国(国土交通省)に
引き続き要望を行う



四宮 南海トラフ地震が発生した場合、地震や津波などにより甚大な被害になると想定されるが、市の湾岸部に位置する災害拠点病院の徳島赤十字病院や消防本部など市民の生命を守る重要な拠点を守るため、防波堤、防潮堤などの湾岸施設の整備など、防災、減災対策を図ることが重要であるが、小松島港本港地区の防波堤、通称一文字防波堤の港湾施設の現状はどうなっているか。

四宮 市民の生命財産を守るため、老朽化している一文字防波堤等の湾岸施設の整備を今後どのようにしていくのか。

産業建設部長・水道部長 防潮堤等の改良による地震・津波対策の早期整備について、港湾管理者である県、国、国土交通省に引き続き要望を行う。

四宮 今後も湾岸整備が着工されるまで、機会あるごとに要望するよう求める。次に災害に対しての自助の育成、個人の防災力の向上について、市の考え方や現在の対応は。

企業での防災訓練の実施等、今後もあらゆる場での啓発運動に努める。

四宮 防災士を育成し活躍の場をつくるのが市民のプラスになると考えるが、市の考えは。

市民安全課長 徳島県地域防災推進員養成研修への積極的な参加を自主防災会、企業、事業所に奨励していく。

市のがん対策 の取り組みは

四宮 がん検診などの予防事業への取り組みが重要だが、本市の取り組みは。

健康増進課長 受診率向上のため、子宮頸がん、

高齢者への買い物支援の 取り組みは

新生クラブ 前川 英貴 議員

答
地域福祉計画の策定に
伴い支援施策を検討

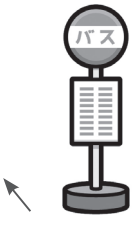


前川 年齢を重ねるにつれ、足腰が不自由になり、自分で買い物に行くのが困難な高齢者の方がふえてきている現状を踏まえ、市として何らかの支援が必要ではないか。

保健福祉部副部長 介護保険法に基づく地域支援事業の具体的な事業内容や実施手法を検討する中で、介護保険制度の対象外とされている方々に対する支援についても、先進地事例を含めて研究していく。



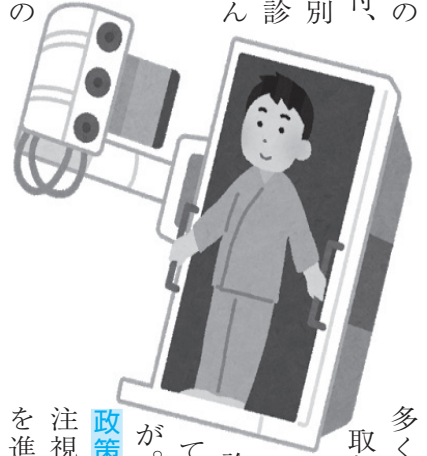
前川 今年度より3年間は市営バスを路線移譲し、それ以降は市民の足を守るため、改めて検討するようであるが、高齢者の方にとっては、公共バスは、貴重な移動手段であり、どの世代と比較しても買い物や通院にバスを利用する機会が多く、福祉サービスとしての施策の検討も合わせ、他の自治体でも実施されているデマンドバスの導入を検討し、買い物弱者や買い物難民を少しでも減らす取り組みを進めるべきである。



乳がん、大腸がん検診の無料クーポン券の交付、がん検診対象者への個別勧奨通知の送付など受診向上に引き続き取り組んでいく。

胃がん検診について

四宮 既に胃内視鏡での検査をしている自治体も



多く、専門医の意見を取り入れ、血液検査でがんのリスクが判定できるABC検診を助成の対象にしている自治体もあるが。

政策監 今後、情報を注視し関係機関と検討を進めていきたいと考える。

赤石町と豊浦町の境にある水路の浚渫（しゅんせつ）と壁の補修は

やまももクラブ 吉見 勝之議員

答 日本製紙、土地改良区等と協議を行った上で進めていく



吉見 赤石町と豊浦町の境にある水路の浚渫と一部の壁が崩れかかっており早急な対策は。

都市整備課長 南側半分が法定外公共物（注）法定外公共物の水路は市が管理、維持する）としての水路、北側半分が日本

製紙所有の水路。周辺地域の浸水対策の1つとして堆積土砂の浚渫も日本製紙、土地改良区と関係団体とも協議し進める。

吉見 この水路には東西の流末にそれぞれポンプ場がある。整備計画は。

都市整備課長 東側は市

マイナンバー 制度の利便性は

前川 国は、この制度を導入することで、どのような利便性があるのか。

総務課長 制度導入後は雇用保険であるとか、医療保険、生活保護、児童手当、確定申告などに添付する書類にマイナン

バーの記載が求められる一方、役所が別々に管理している個人情報マイナンバーで照合できるようになり、行政手続が簡素化され、さまざまな方面でのマイナンバーの適用が順次なされていくことが想定される。

市としても、今後の法律の改正等、推移を十分

見守っていききたい。

前川 今後制度が進む中で、市民にとってマイナンバー制度の利便性が高まることを願うが、活用していくのは市民であることを十分に理解をして、わかりやすく周知を積み重ねていただきたい。

市営住宅の未収金 約4億円の回収は

吉見 近隣他市と同様に5個まで収集し、来年度のごみ収集カレンダーに記載を要望する。

環境衛生センター所長 と運用方法は。平成21年度ごろから一度に出すごみは3個程度まで、多量のごみは近隣他市と同様に有料持ち込みの扱いである。

吉見 平成26年度末の住宅家賃の未収金は他の市町村も同じ状況か。

住宅課長 平成26年度は収納率70・80%。本市に関しては良好と言えない。

吉見 住宅家賃の未収金が約3300万ふえたことは。



色丹島文化会館（住民交換会）

の1員として、国後島、色丹島を訪問した。領土問題の解決のため、どうい

うかから外していくという、それをしないと現実的にはふえていく点もあると思う。

地方自治体における北方領土問題

市長 国の外交に関する事項であるので、国の対応の推移を見守っていききたい。

市営住宅の未収金について 今後、どのように取り組むのか

創生クラブ 松下 大生 議員

答
現体制で政策法務室の
助言等を参考に訴訟等を
検討したい



松下 市営住宅の家賃徴収率は、昨年度、70・80%、累計総額、約4億円が未収金となっている。今後、未収金についてどのように取り組むのか。

住宅課長 現体制で政策法務室の助言や他市町村の方策等を参考に、訴訟等の活用やその技術を継続的、効果的に実施するマニュアルを検討する。

松下 市営住宅家賃の徴収率向上のため、口座振替を導入する考えはあるのか。

住宅課長 今後、高齢者比率も上がることが予想され、ニーズは高まると思われる。利便性の向上

に力点を置いて今後検討していく。

住宅新築等貸付事業について

松下 本事業は、同法に基づいて実施された事業で、平成26年度が60・47%で前年比、マイナス8・21%と償還率が低下した原因について問う。

人権推進課長 償還対象者の死亡や高齢化などにより、償還が困難になっているケースが多くなっている。

松下 今後、具体的に償還率向上に向けてどのように取り組むのか。

人権推進課長 今年度、

小松島市債権管理条例も施行されたので、対処していきたい。

野外活動センターの跡地利用は

松下 建物を解体後、更地になるが、その後、跡地の利用予定はあるのか。

政策監 跡地利用計画はないが、今後、県等と協議を行い、検討していく必要があると考えている。

開発道路の方への移管は

松下 過去に市に帰属できなかった開発道路について、今後、市への移

管を行っていくつもりはあるのか。

都市整備課長 道路の状況を精査、調査し、移管が可能であれば市への帰属を行っていく。

ふるさと納税の返礼品の追加を

松下 本事業は、寄附金額が、昨年度約1000万円です。貴重な自主財源になっている。また、小松島市の特産品を全国にアピールする機会である。現在、2品目が返礼品であるが、種類の追加等をしていただきたい。



小松島市議会会議規則（昭和42年小松島市議会規則第6号）新旧対照表

現 行	改 正 後 (案)	備考
(欠席の届出) 第2条 議員は、事故のため出席できないときは、その理由を付け、当日の開議時刻までに議長に届け出なければならない。	(欠席の届出) 第2条 議員は、事故のため出席できないときは、その理由を付け、当日の開議時刻までに議長に届け出なければならない。 2 議員は、 <u>出産のため出席できないときは、日数を定めて、あらかじめ議長に欠席届を提出することができる。</u>	追加
(欠席の届出) 第91条 委員は、事故のため出席できないときは、その理由を付け、当日の開議時刻までに委員長に届け出なければならない。	(欠席の届出) 第91条 委員は、事故のため出席できないときは、その理由を付け、当日の開議時刻までに委員長に届け出なければならない。 2 委員は、 <u>出産のため出席できないときは、日数を定めて、あらかじめ委員長に欠席届を提出することができる。</u>	追加

小松島市議会会議規則の一部を改正

小松島市議会会議規則の一部改正は、全国市議会議長会の標準市議会会議規則の一部改正を受け、行うものです。

標準市議会会議規則の一部改正については、近年の男女共同参画の状況にかんがみ、地方議会においても男女共同参画を考慮した議会活動を促進するため、会議規則中、会議への欠席に関する規定及び委員会への欠席に関する規定の一部を改正するものです。

議員の賛否表（平成27年9月定例会議）

議案・議提		議員名（議席番号順）															
		松 下 大 生	四 宮 祐 司	高 木 幸 次	米 崎 賢 治	池 淵 彰	片 田 真 弓	杉 本 勝	前 川 英 貴	廣 田 和 三	北 野 恒 男	吉 見 勝 之	武 田 清	出 口 憲 二 郎	安 平 剛 之	佐 野 善 作	宮 崎 欽 司
第61号	平成26年度小松島市一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第62号	平成26年度小松島市競輪事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第63号	平成26年度小松島市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第64号	平成26年度小松島市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第65号	平成26年度小松島市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第66号	平成26年度小松島市土地取得事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第67号	平成26年度小松島市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第68号	平成26年度小松島市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第69号	平成26年度小松島市水道事業会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第70号	平成26年度小松島市自動車運送事業会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第71号	平成27年度小松島市一般会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第72号	平成27年度小松島市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第73号	平成27年度小松島市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第74号	小松島市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第75号	小松島市職員の再任用に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第76号	小松島市個人情報保護条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第77号	小松島市情報公開・個人情報保護審査会条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第78号	小松島市事務手数料条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第79号	訴えの提起について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第80号	市道の路線の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第81号	公平委員会委員の選任の同意について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議提第8号	小松島市議会会議規則の一部を改正する規則について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
委員会提出第1号	議会評価意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○は賛成 ●は反対 -は退席 ※（議長）井村保裕は、採決には加わりません。

●●●●●●●●●● 視 察 来 市 ●●●●●●●●●●

来市市議会	日 時	視察内容
大阪府貝塚市議会	平成27年7月2日（木）	● 議会におけるタブレット端末について
茨城県下妻市議会	平成27年7月13日（月）	● 議会運営について ● 議会改革について
宮城県仙南町村議議会	平成27年7月28日（火）	● iPad について ● 議会運営について
沖縄県うるま市議会	平成27年8月7日（金）	● ペーパーレス議会について
愛媛県東温市議会	平成27年8月10日（月）	● 議会基本条例、議員定数削減について
高知県安芸市議会	平成27年8月21日（金）	● 議会基本条例について
北海道名寄市議会	平成27年10月5日（月）	● 通年会期制議会について
滋賀県湖南市議会	平成27年10月13日（火）	● 通年議会、議員間（自由）討議、議会基本条例制定後の議会運営

平成 27 年 12 月 定例会議 日程

どの会議、委員会でも全て傍聴できます。

月 日	曜	開議時刻	議 事	月 日	曜	開議時刻	議 事
12月4日	金	午前10時	開会（議案提出）	12月14日	月	午前10時	文教厚生常任委員会
12月8日	火	午前10時	質 疑・一般質問	12月15日	火	午前10時	産業建設常任委員会
12月9日	水	午前10時	質 疑・一般質問	12月16日	水	午前10時	予算決算常任委員会
12月11日	金	午前10時	総務常任委員会	12月18日	金	午前10時	議 決・散 会

ふれあい 市議会コンサート

9月8日、定例会議の一般質問初日に本会議場においてオカリナサークル「夕笛」の演奏があり、オカリナの美しい音色が議場に響きわたりました。



ふれあい 市議会コンサート

参加者のご意見（抜粋）

- ♪ オカリナの美しい演奏が聴けて青春時代にかえり楽しかった（女性）
- ♪ オカリナ演奏は初めてで、音色がよかった、また来たいと思います（女性）
- ♪ ゆったりとした時間を過ごすことができました（女性）
- ♪ とても美しい音色に癒されました（女性）
- ♪ 昼のひとつときを楽しみました（女性）

市議会では、12月・3月・6月・9月の各定例会議における出演者を募集しています。
出演のお問い合わせは、小松島市議会事務局まで Tel.32-1359

編集委員

前川英貴 委員長
米崎賢治 副委員長
佐野善作 委員
吉見勝之 委員
片田真弓 委員
廣田和三 委員
四宮祐司 委員
松下大生 委員

編集後記

日課の朝の散歩でも肌寒く感じるようになりました。地方創生、小松島市政発展に向け決算認定議案の審査のための9月定例会議も無事散会しました。市民の皆様には市議会、議員活動をよりご理解いただきたいとの一心で編集に携わりました。文章校正から誌面のデザイン、レイアウトまで検討を重ね作成しました。今後とも市民の皆様にご覧いただける議会広報誌として委員一同、研鑽してまいりますので、よろしくお願いたします。

委員 四宮祐司